

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	林道整備事業			コード	7310	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	農林水産課	作成者	吉沢 透
3 事業概要	目的体系	基本目標	人が集い、にぎわいと活力あふれるまち			
		政策	産業の振興	施策	農林漁業の振興	
		予算科目	林道整備事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	民有林に対する林業経営基盤の整備並びに林業振興等の主たる施設の改良及び整備		
目的	対象者	市民及び林業経営者	
	意図	林業振興	

5 事業の必要性	* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由
林道は公共施設として森林造成に不可欠であり、利用により痛み等が発生するため、計画的に改良・整備を行なう必要がある。	

6 事業の全体計画	* 各年度の取組計画			
予定全体事業費	128,600,000	円	事業期間	H30～R10
29年度まで	舗装工 一式			
30年度	舗装工 一式			
元年度	舗装工 一式			
2年度以降	舗装工 一式			

7 事業の実施内容	* 各年度の進捗状況		
29年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 林道高尾山線 舗装工 （国庫補助金） 林道常現寺線 舗装工 （単独） 林道橋梁調査業務 （国庫補助金） 		
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 林道常現寺線 舗装工 （単独） 林道横河山線（観音橋） 架替事業 （国庫補助金） 		
元年度	<ul style="list-style-type: none"> 林道常現寺線 舗装工 （単独） 林道横河山線（観音橋） 架替事業 （国庫補助金） 		
前年度の課題への対応	橋梁改修については、平成30年度より国庫補助（農山漁村地域整備交付金事業）を活用し実施している。		

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度まで(累計)	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	220,337,986	23,166,000	15,681,800	102,816,000
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	220,337,986	23,166,000	15,681,800	102,816,000
* 臨時的経費の説明	観音橋架替事業、常現寺線舗装工事			
② 人件費		1,680,000	3,040,000	3,040,000
正規職員の人数(人)	0.1%	0.21	0.38	0.38
③ 合計コスト(①+②)	220,337,986	24,846,000	18,721,800	105,856,000
前年度比			75.4%	565.4%
財源				
一般財源	219,037,986	3,119,000	4,337,800	11,936,000
内訳				
特定財源	1,300,000	21,727,000	14,384,000	93,920,000
* 特定財源の説明	国庫補助金、県補助金、市債			

●事業の評価 (CHECK)

9 事業の進捗状況

区分	29年度まで(累計)	30年度	元年度	2年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	171.3%	189.3%	201.5%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明	林道は天候、交通量等によっても破損するため、進捗率はだせない。			

事業をとりまく環境変化	今まで	(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと) ゲリラ豪雨の多発により、林道の荒れが毎年ひどくなってきている。
	今後	(2年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること) 近年の気象の変化によりゲリラ豪雨や局地的豪雨が多くなっているため、利用者の多い林道においては計画的な舗装整備等を検討する。

●改善の内容 (ACTION)

10 今後の課題と対応策

今後の課題	(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、2年度以降に課題になること) 施設の老朽化が進むと改修等の工事費や委託料が増加する。
課題への対応策	(上記の課題をふまえて2年度に実施する、具体的な対応方法) 優先度による検討など計画的に事業を進める必要がある。

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---